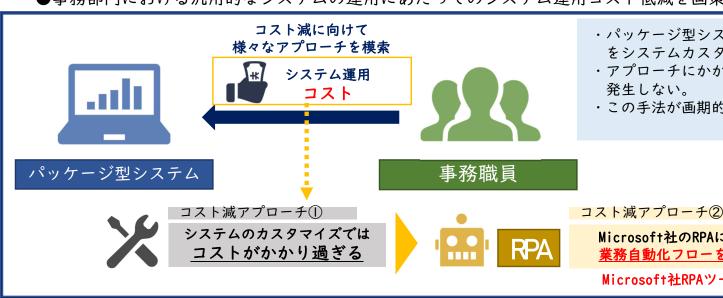
## RPAを活用した新たな業務運営DX -三重大学モデル-

調達室 平山 亮

## POINT1. ローコストなRPAを用いて、運用コスト減を実現

●事務部門における汎用的なシステムの運用にあたってのシステム運用コスト低減を画策



- ・パッケージ型システムと業務実施者との間にあるシステム運用コスト をシステムカスタマイズではないアプローチにより解決 = RPAの活用
- ・アプローチにかかる手法が汎用的な環境下で実行でき、コストもほぼ 発生しない。
- ・この手法が画期的なアプローチとして、社会的に高い評価を得た。

令和3年度 国立情報学研究所で登壇 日本経済新聞の取材を受ける

令和4年度 Amazonオンラインイベントにて登壇 福井大学及び鈴鹿高専にて講演会実施

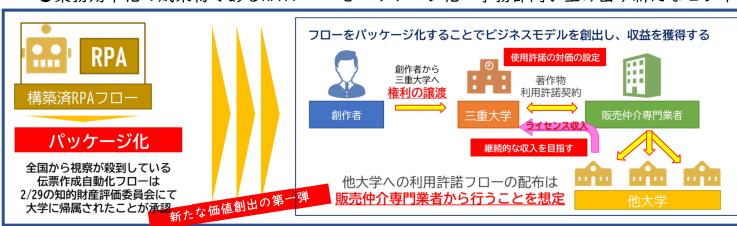
令和5年度 Amazon最大イベントにて登壇

Microsoft社のRPAにより 業務自動化フローを構築 計42機関の視察受入実施

Microsoft社RPAツール利用はコストゼロ!!

## PON 2 RPAフローのパッケージ化により、事務部門から価値を創出 | ニ重大学モデル | ■

●業務効率化の成果物であるRPAフローをパッケージ化→事務部門が生み出す新たなビジネスモデルに



- ・権利化により、大学のコストセンターとして の認識である事務部門の活動が収益を生み出 すという発想転換。
- ・業務効率化で生まれた事務システムとの隙間 を埋める業務モデルをパッケージとして販売 し収益化。
- ・DXを低コストにより大学現場にフィットした ものとして広めていく活動としても有益。